



椎茸普及指導情報 第38号

新年あけましておめでとうございます。
生産者の皆様にとってよりよい年になることを御祈念申し上げます。

1 気象情報

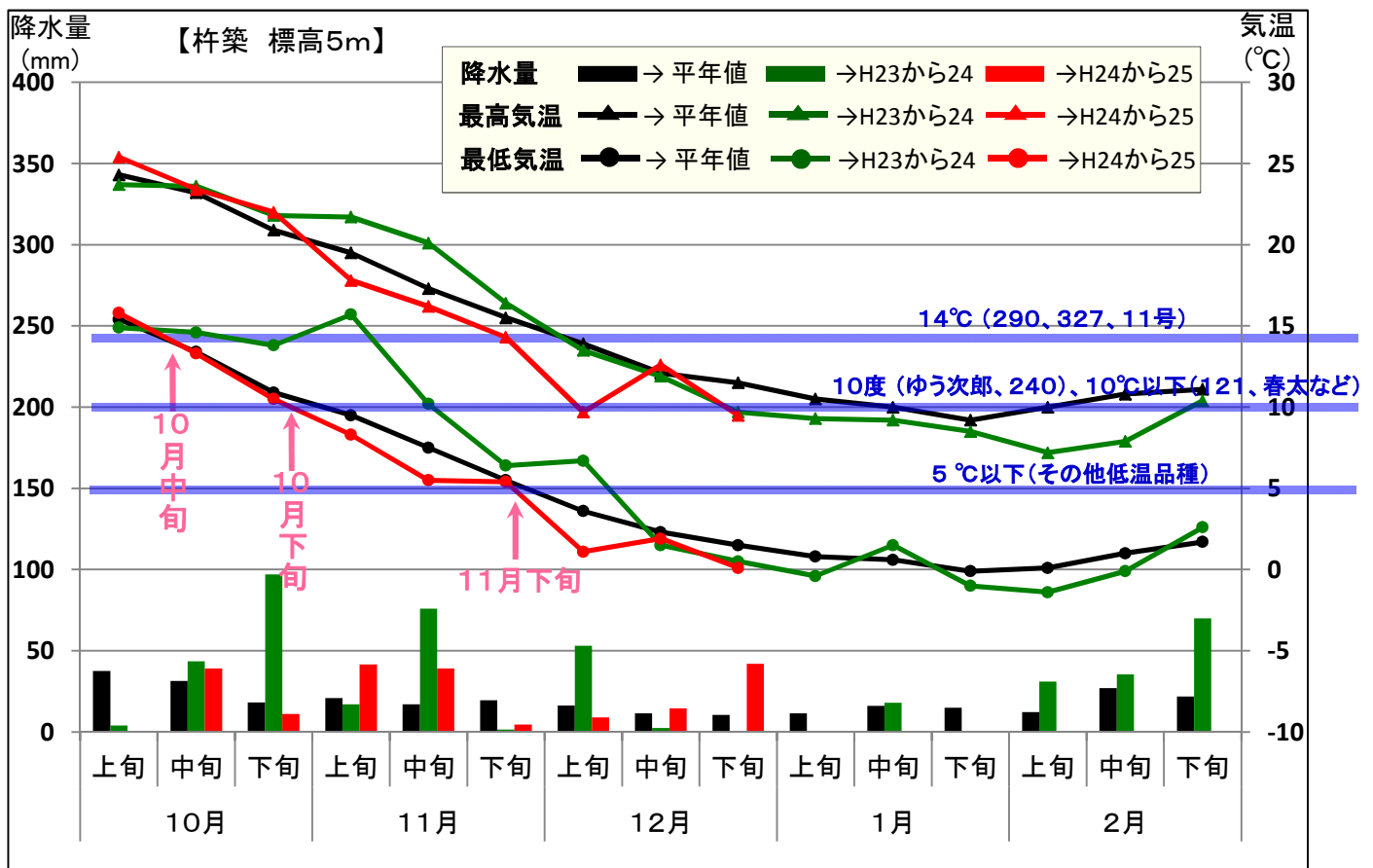
(1) 秋子作柄

下記のグラフは、杵築市の旬別最低気温、最高気温及び降水量を示したものです。

黒が平年値、緑が昨年値、赤が今年値です。

今年の秋は、気温は順調に低下し、降水量も適度にあり、また新木のほだ化も良好で、秋子発生には恵まれた気象条件ではなかったでしょうか。

いよいよ植菌・春子採取のシーズンを迎えますが、どうぞ怪我等に十分ご注意の上、計画的に作業を進め、確実な採取、駒打ち、ほだ木づくり等をお願いいたします。

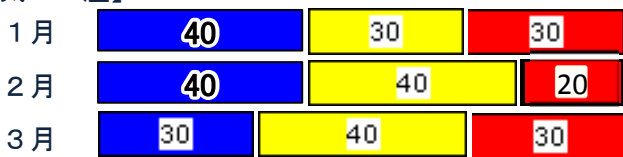


(2) 季節予報

九州北部地方 3か月予報 (1月から3月までの天候見通し)

平成24年12月25日 福岡管区気象台 発表

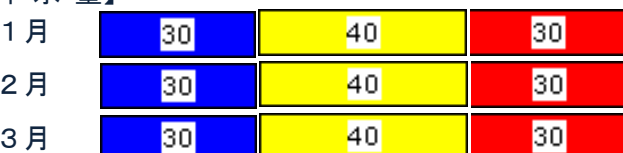
【気温】



<予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は左図のとおりです。

【降水量】



1月 平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。

2月 平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。気温は平年並みまたは低い確率ともに40%です。

3月 天候は数日の周期で変わるでしょう。

凡例 ■低い(少ない) ■平年並 ■高い(多い)

2 春子発生に向けて

(1) 春出系（低温品種）の散水

春出系（低温品種）は秋出系（中低温品種）と比べ、より刺激が必要です。寒波にあわせた発生操作を行いましょう。

① 寒波にあわせた水分補給の実施（1月～2月上旬） ※ 新木は凍結しないよう注意して下さい。

- 散水施設のあるほだ場では、寒波に合わせた散水を実施する
[散水時間の目安] 夕方から翌朝まで連続散水
連続散水が無理であれば3時間程度を3日程度（午後又は夜間実施）
- 散水が無いほだ場では、倒木による水分補給を実施する

② 既に、上記の発生操作を行った場合

1月上旬までの寒波時に上記の散水作業を行った方については、その後の芽切りの状況を見て、芽数が少ないようなら追加の散水を試みてください。

③ 実施対象品種

- 【 森 】 908、春光、121、春太
- 【 菌興 】 169、170、193
- 【 セッコー 】 1号



(2) 秋春出系品種の散水

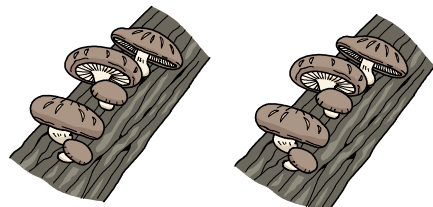
① 散水時期

1月下旬から2月上旬の日中に、3～4時間を3～4日実施

秋に発生が多かった品種は、日中の暖かい日に予備散水（3時間を2日程度）を実施し、ほだ木の回復を図った後、2月中旬頃に発生散水を行ってください。

② 実施対象品種

- 【 森 】 290、ゆう次郎
- 【 菌興 】 115、327、240
- 【 セッコー 】 11号



3 ほだ木づくり

(1) 原木の玉切り

伐採後40～60日が経過し、直射日光が当たっていない原木元口（切り口）のひび割れが直径1/2～2/3程度入った頃が目安です。

(2) 植 菌

玉切りされた原木に種駒を接種し、種駒内部のシイタケ菌糸を原木に活着・蔓延させる重要な作業です。接種は2～3月の低温期（5℃位から伸長を開始）に行い、有害菌が旺盛な成長を開始する前に活着・初期伸長をさせておくのが理想です。

※ 2月上旬から4月上旬（梅の開花時期から桜の開花時期）までが理想です。

(3) 仮伏せ

接種後のほだ木への風や直射日光をさえぎり、植菌の乾燥を防ぐとともに、ほだ木に不足した水分を戻し、**確実に接種した種菌が活着・伸長するよう保湿・保温管理を行う**のが仮伏せです。

仮伏せの重要性

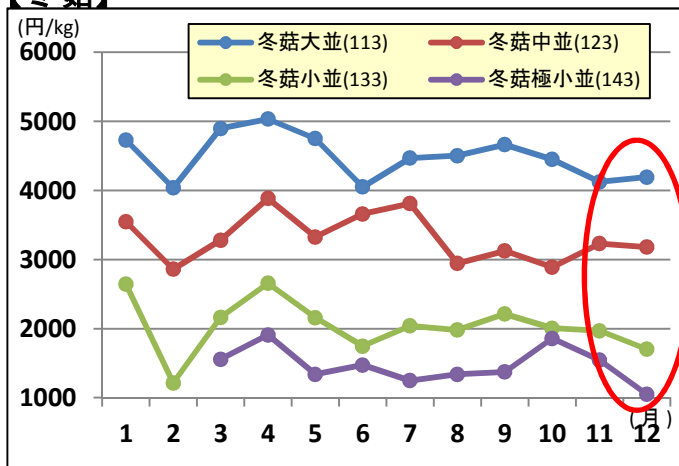
木片駒の含水率は50～60%であり、40%前後で安定して伸長し、20%以下になると外部からの水分補給がなければ伸長できません。原木に接種された木片駒は雨がなければ4～5日後（平均気温8～10℃時）には、30%以下になり菌糸の伸長が弱くなります。→**接種した種駒の水分保持が活着・伸長に重要です。** ※ 植菌後の散水には移動式簡易散水施設が有効です。

4 価格情報

(1) 平成24年 椎茸農協月別・品柄別平均価格推移

平成24年の椎茸農協入札結果を、品柄別に月ごとの価格推移を示したものです。

【冬菇】



① 市況が低迷するなか、11・12月を除くと冬菇・香信の大並は4千円/kg代、香菇大並については5千円/kg代で推移するなど、**大葉の価格は比較的安定**しています。

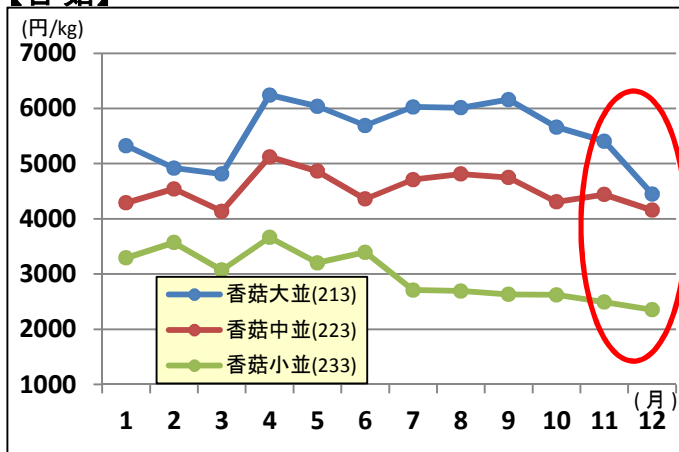
② 良品は、常に高単価で取引されています。(ページ下の初入札状況を参考にして下さい。)

③ 現在の市況は、大葉系と小葉系の価格差がはっきりしています。

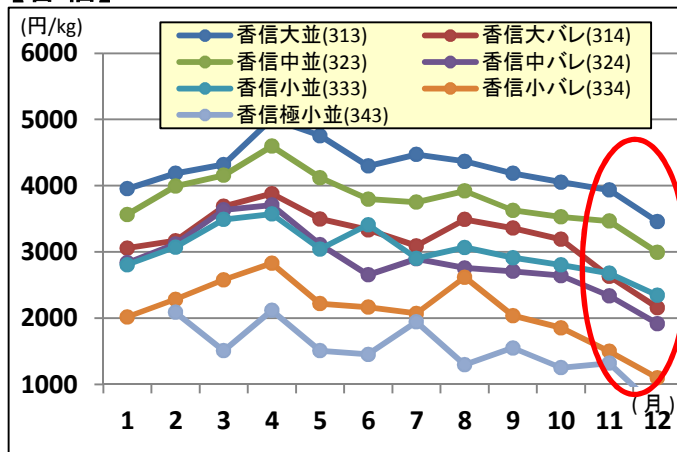


袋掛け・ビニール被覆、適期採取など、大葉・良品で採取する取り組みが高単価につながります。

【香菇】



【香信】



11・12月は、出荷が遅れ色落ち等品質が低下した品物が多く価格低下の要因のひとつになりました。昨年(H24)は雨も多く例年より選別・出荷が遅れた方がおられたかと思いますが、今年目標に是非「早期出荷」を加えてください。

(2) 初入札の状況

1月11日、椎茸農協初入札会が開催され、各支部の良品が高単価で競り落とされました。



大葉・良品率向上、早期出荷など単価アップに向けた取り組みを行いましょ！

5 冬期の収量を確保して品質アップ

◆ビニール被覆について

春期の収穫量 → 冬期に前倒しして採取

◎ 品質の向上につながります。

◎ 春期作業を軽減できます。

- 天気が良く気温の高い日中はビニールを開け、温度上昇に伴う品質低下を防ぎましょう。
- 採取後は必ずビニールを外し、次の芽切りのためにほだ木に水分を補給しましょう。



※きのこグループ研究事例（H20～24年度まで試験実施）

①試験方法

- ・4品種（290、ゆう次郎、327、240）を対象
- ・4試験区（基本区（何も手を加えない）/散水のみ/散水+ビニール掛け/散水+ビニール掛け+ほだ木コート）を設け、秋期、冬期（12～2月）、春期の発生量を調査
- ・ビニールは厚さ0.1mmを使用
- ・散水は、ほだ木が乾かない程度に実施

②試験結果

- ・**ビニール掛けを行った試験区については、どの品種も冬期の収量割合が増加**
- ・「散水+ビニール掛け試験区」と「散水+ビニール掛け+ほだ木コート試験区」では有意差なし。
- ・収量の合計には変化なし

品種名	散水のみ			散水+ビニール掛け		
	収量割合(%)			収量割合(%)		
	秋期	冬期	春期	秋期	冬期	春期
290	16%	25%	59%	19%	41%	40%
ゆう次郎	2%	10%	88%	2%	29%	69%
327	49%	5%	46%	48%	28%	24%
240	5%	16%	79%	0%	40%	60%



③補足事項

- ・ビニール掛けについては、昼間は外気温の方が高くなる傾向にある（夜間は逆転）。
- ・ビニールの厚さは、薄い方が内部の気温が上がりやすいが、破損もしやすい（くっつきやすい）ためある程度厚みがある方が使いやすい。

◆袋かけについて

温度・湿度の確保

◎ 芽の乾燥・枯死を防ぎます。

◎ 大きな椎茸が採れやすく、品質が向上します。

- 寒い時期ほど効果が大きくなります。
- 椎茸が親指大以上になった時期に行いましょう。
- 収穫予定の1～2日前に袋を取り、外気に当てた後に採取しましょう（通気が悪いと、雨子状態になることがあります）。
- 椎茸とほだ木の間に広いときは、小枝などを挟むと留めやすくなります。（ただし、あまり擦ると椎茸が黒く着色してしまう場合があるので、注意しましょう。）

①全体を覆う

- ・厳寒期
- ・風通しが良いほだ場
- ・寒いほだ場



②傘のみを覆う

- ・傘に亀裂があるもの
- ・雨が降る前（雨子防止）
- ・温度がとれるほだ場



6 安全対策

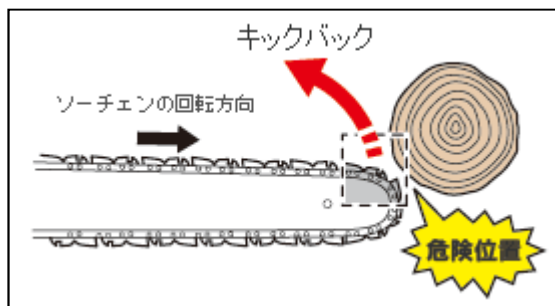
伐採作業など林業現場における死亡事故が平成23年度9件、今年度既に8件発生しています。チェーンソー作業が続きますのでヘルメットの着用など安全対策をしっかりと行って下さい。

また、山の場所は電話では説明しづらいので、ケガ等を想定し、作業場所は必ずご家族の方などに伝えておきましょう。

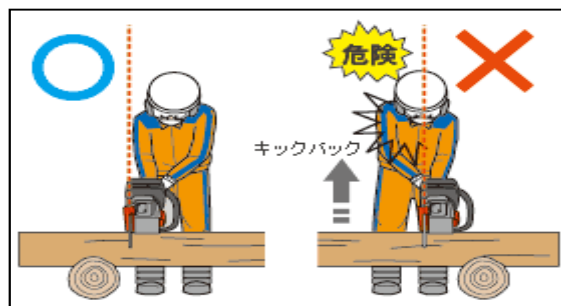
【平成24年度死亡事故件数】

作業種別	件数	被災状況
伐採作業	6	伐採木の直撃、伐採木の下敷き（かかり木処理、浴びせ倒し）
枝打作業	1	地上6mの場所で命綱にからまり宙づり状態
集材作業	1	集材機への巻き込み

【チェーンソー作業における注意点】…キックバック



ガイドバー先端部の上半分が木材に触れますと、ソーチェーンの回転でガイドバー先端部が木材を駆け上がる力が働き、作業者の上半身に向かって跳ね返るキックバックが発生し危険です。



危険性を最小限にするために左手でフロントハンドル、右手でリアハンドル（トップハンドル）をもって作業してください。身体のコ（頭部）に跳ね返ることが避けやすくなります。

丸太等の切断では左足のひざ・すね・太ももを傷つけることが多い（右利きの場合）ので、足場の確保には十分注意して下さい。

※ 毎年、大分県林業研修所において、伐木作業に関する知識等を習得するため、「伐木等業務に係る特別教育」研修が開催されています。受講を希望される方がおられましたら 東部振興局（連絡先は5ページのいちばん下に記載しています。）までご連絡下さい。

7 第6回東部地区ほだ場コンクール開催のお知らせ

2月末日に「第6回東部地区ほだ場コンクール」を開催しますので皆様からの出品をお待ちしています。（出品を希望される方は各市町林業担当者、東部振興局しいたけ担当普及員までご連絡下さい。）

※ 結果は普及情報誌、東部地区乾しいたけ品評会会場でのパネル展示などでお知らせします。



写真①



写真②

林齢（樹高）の異なるスギ・ヒノキ林が混在、また枝打ち・間伐の実施により明るいほだ場となっている。（写真①）
路網整備が作業性を向上させている。（写真②）

昨年のほだ場コンクールにおいて最優秀賞を受賞されたほだ場（国東市武蔵町 野田徹城さん）

最近、皆さんの身近でしいたけ生産を開始した方がおられましたら、東部振興局（坂本、伊藤）までお知らせ下さい！

大分県東部振興局 農山漁村振興部 林業・木材・椎茸班
担当：坂本（国東市エリア） 伊藤（別府市杵築市日出町エリア）
TEL：0978-72-0156 FAX：0978-72-3697